

職員給与の状況を公表します

全国の県や市などで、毎年職員の給与実態を公表しています。今回も一般会計の予算・決算などを参考に、国や県などと比較しながら、九項目にわたってお知らせします。

(7) 昇給期間短縮の状況

区 分	一般行政職	技能労務職	消防職
昭和60年度	職員数 A 328人 B 71人 比率(B/A) 21.6%	114人 25人 21.9%	56人 7人 12.5%
昭和59年度	職員数 A 332人 B 59人 比率(B/A) 17.8%	115人 17人 14.8%	50人 11人 22.0%

(8) 職員手当の状況

区 分	新 津 市	国
	(昭和60年度支給割合)	(昭和60年度支給割合)
期末手当	6 月 期 1.4月分	6 月 期 1.4月分
勤続手当	12 月 期 1.9月分	12 月 期 1.9月分
	3 月 期 0.5月分	3 月 期 0.5月分
	計 3.8月分	計 3.8月分
退職手当	(支給率) 自己都合 勤続・定年 勤続20年 21.0月分 28.875月分 勤続25年 28.375月分 44.55月分 勤続35年 48.125月分 63.525月分 最高限度額 60.0月分 63.525月分 その他の加算措置 制度なし 退職時特別昇給 原則1号給 退職時特別昇給 退職時特別昇給 原則1号給 1人当たり平均支給額 905千円 17,077千円	(支給率) 自己都合 勤続・定年 勤続20年 21.0月分 28.875月分 勤続25年 33.75月分 44.55月分 勤続35年 47.5月分 62.7月分 最高限度額 60.0月分 62.7月分 その他の加算措置 制度なし 退職時特別昇給 原則1号給 退職時特別昇給 原則1号給

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

区 分	全 職 種
職員全体に占める手当支給職員の割合	43.9%
支給対象職員1人当たり平均支給年額	37,860円
手当の種類(手当数)	26
特殊勤務手当(昭和60年度)	支給額の多い手当 代表的な手当の名称 多くの職員に支給されている手当
	行旅死亡者取扱手当 福祉現業手当 火葬業務手当 獣医師手当 企業職員手当 夜間業務手当 賦課職員手当 特殊保育手当 清掃作業手当 企業職員手当

区 分	分	全 職 種
超過勤務手当	昭和60年度	支給総額 53,730千円 職員1人当たり平均支給額 99千円
	昭和59年度	支給総額 74,128千円 職員1人当たり平均支給額 120千円

区 分	内 容	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
扶養手当	配偶者 14,000円 配偶者以外の扶養親族のうち2人 各 4,500円 ただし、配偶者のない職員の場合には、扶養親族のうち1人は 9,500円 その他の扶養親族1人につき 1,000円	同 じ	—
住居手当	借 家 月額9,000円を超える家賃を支払っている職員に対し負担している家賃の額に応じて最高15,000円(家賃の額が31,500円以上の場合)まで支給している。 自 宅 1,000円ただし、住宅を新築購入した場合5年間は2,500円	同 じ	—
通勤手当	交通機関利用者(電車・バス利用者) 負担している運賃の額に応じて最高24,000円(運賃の額が28,000円以上の場合)まで支給している。 交通用具使用者(自転車等使用者) 片道の使用距離 2km以上5km未満 2,000円 5km以上10km未満 2,700円 10km以上 3,600円 ただし、通勤不便で20km以上9,600円まで支給する。	同 じ	—

(9) 特別職の報酬等の状況(昭和61年4月1日現在)

区 分	給 料 月 額 等
給 市 長	675,000円
助 市 長	530,000円
料 助 市 長	475,000円
報 議 員	315,000円
酬 議 員	265,000円
	245,000円
市 長	(昭和60年度支給割合) 6月期 1.4月分 12月期 1.9月分 3月期 0.5月分 計 3.8月分
助 市 長	(昭和60年度支給割合) 6月期 1.4月分 12月期 1.9月分 3月期 0.5月分 計 3.8月分
市 長	(昭和60年度支給割合) 6月期 1.4月分 12月期 1.9月分 3月期 0.5月分 計 3.8月分
助 市 長	(昭和60年度支給割合) 6月期 1.4月分 12月期 1.9月分 3月期 0.5月分 計 3.8月分

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区 分	住民基本台帳人口(年度末)	歳 出 額 A	実質収支	人 件 費 B	人件費率(B/A)	(参考)昭和59年度の人件費率
昭和60年度	61.3.31 64,587人	千円 11,786,046	千円 41,995	千円 2,830,849	24.0%	23.4%

(注) 人件費には、特別職に支給される給料・報酬等を含みます。

(2) 職員給与と費の状況(普通会計決算)

区 分	職員数 A	給 料	与 費	1人当たり給与と費(B/A)	職員総数
昭和61年度	540人	千円 1,522,512	千円 189,259 千円 645,788 千円 2,357,559	4,366千円	613人

(注) 1. 職員手当には、退職手当を含みません。
2. 給与費は当初予算に計上された額です。
3. 職員総数は昭和61年4月1日現在の市役所職員の総数です。

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況(昭和61年4月1日現在)

区 分	一 般 行 政 職	技 能 労 務 職
	平均給料月額	平均給与月額
新 津 市	236,749円	258,485円
国	231,339円	39歳7月
新 潟 県	243,209円	280,959円
	243,232円	270,471円

区 分	消 防 職	全 職 員
	平均給料月額	平均給与月額
新 津 市	231,478円	265,086円
国	38歳6月	228,758円
新 潟 県	243,232円	270,471円
	243,232円	270,471円

(4) 職員の初任給の状況(昭和61年4月1日現在)

区 分	新 津 市	国	新 潟 県
	決定初任給	採用2年経過日給	初 任 給
一般行政職	大 学 卒 113,200円	125,100円	113,200円
	高 校 卒 95,500円	101,700円	95,500円
技能労務職	高 校 卒 95,500円	101,700円	95,500円
消防職	高 校 卒 107,100円	115,800円	107,100円

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(昭和61年4月1日現在)

区 分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒 182,800円	231,600円	271,500円
	高校卒 148,800円	188,350円	211,500円
技能労務職	高校卒 148,800円	169,650円	211,350円
消防職	高校卒 171,800円	213,300円	238,900円

(注) 1. 経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいうものです。
2. 中途採用職員については、それぞれの前歴等の年数を規定により在職年数として換算し、あわせて市職員に採用後の在職年数も加算したものです。

(6) 一般行政職の級別職員数の状況(昭和61年4月1日現在)

区 分	8 級	7 級	6 級	5 級	4 級	3 級	2 級	1 級	計
標準的な課長補佐	課長補佐	課長補佐	課長補佐	課長補佐	課長補佐	課長補佐	課長補佐	課長補佐	
職員数	20人	17人	40人	45人	70人	104人	32人	2人	330人
構 成 比	6.1%	5.2%	12.1%	13.6%	21.2%	31.5%	9.7%	0.6%	100%
参 考	1年前の構成比 6.7%	5.2%	12.1%	13.6%	21.2%	31.5%	9.7%	0.6%	100%
	5年前の構成比 6.5%	5.2%	12.1%	13.6%	21.2%	31.5%	9.7%	0.6%	100%

(注) 1. 新津市の給与と条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。
3. 5級、7級は昭和60年度の給与改訂により新設された級です。

お買物、ご用命は市内で

ボソと押せば お湯が出る

ガス湯沸器

指先タッチの (押す)

老人から 子供まで 安心して 使えます

台所や洗面所に便利です

ガスショールーム ☎ 24 2150

お買物、ご用命は市内で

集めました世界の銘酒
夢の酒「越の大岳」発売元

酒 井 商 店

地酒の地方配送承ります
営業時間 午前8時～夜11時迄
朝日121番地 TEL 22-7675
TEL 22-1907

贈答品・美術品

中野せともの店

本町4丁目 ☎ 22-1086